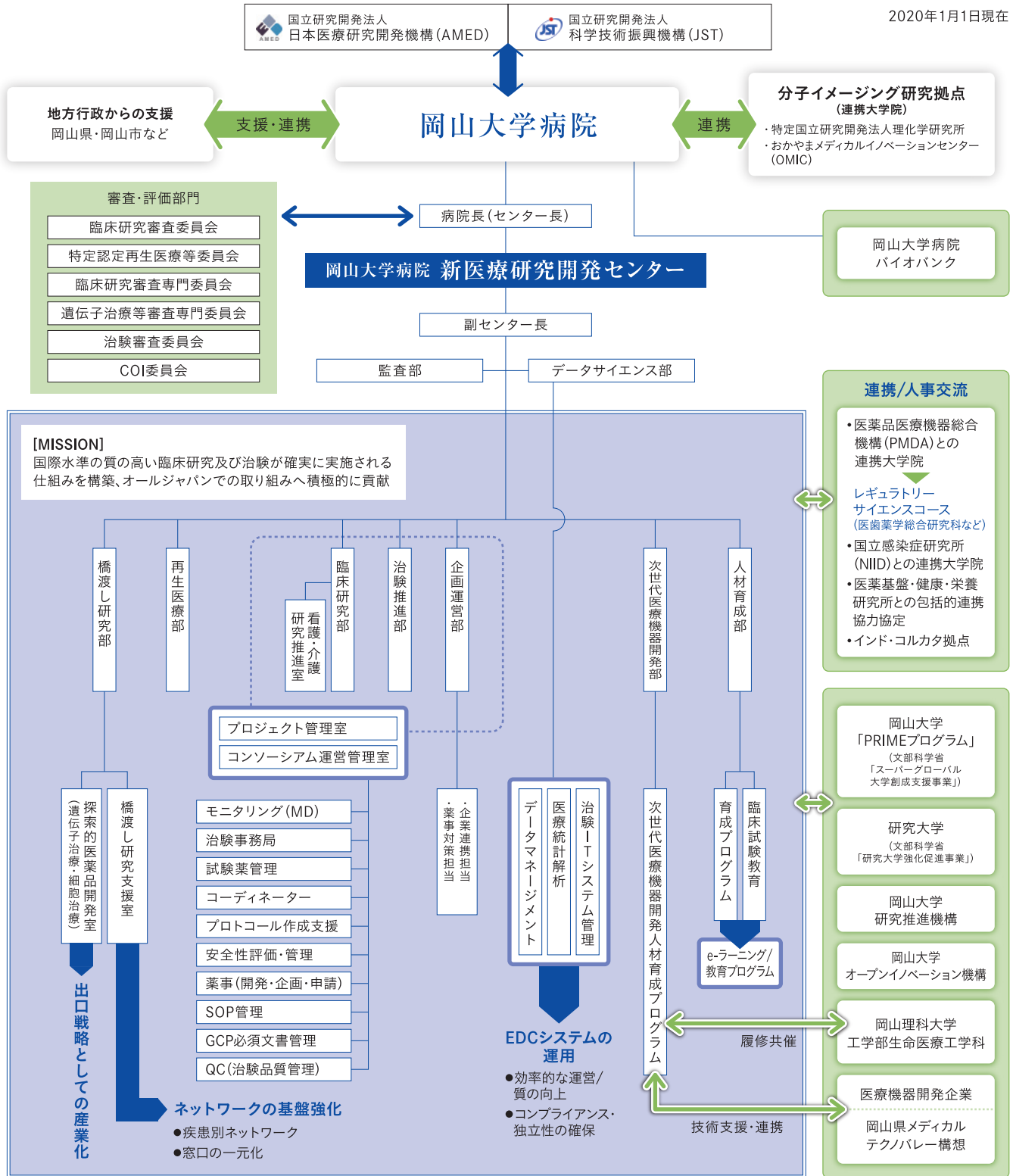


新医療研究開発センター

新医療研究開発センターは「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献します。」という岡山大学病院の基本理念を実現するために、臨床研究・治験・橋渡し研究・医療機器創出を総括的に企画推進する組織です。次世代に向けた新たな医療（再生医療、遺伝子治療、細胞治療、最新医療機器など）を開発し実用化を実践します。岡山大学病院のグローバル医療ネットワークを活かし、世界レベルでリードする革新的医療そして優れた人材を創出していきます。

2020年1月1日現在



岡山から世界に、 新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学として

岡山大学長 挨拶



岡山大学長
槇野 博史

岡山大学は、現在、11学部、8研究科、3研究所、大学病院、附属学校園を備え、約2万人の学生、留学生、教職員が知的創造に取り組む、全国有数の総合大学の1つです。

岡山大学は「高度な知の創成と的確な知の継承」を理念に、「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」という目的の下で教育研究や社会実装に取り組むことにより、国連の持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）の達成に貢献して、「実りの学都」に飛躍することを目指しています。

研究面においては、文部科学省の「研究大学強化促進事業」や日本医療研究開発機構（AMED）の「革新的医療技術創出拠点プロジェクト」などの様々な拠点形成事業に採択されており、これらの事業を通して、大学の研究力強化、医療イノベーション、橋渡し研究などを推進しています。

とりわけ医学・医療分野に関しては、2020年に創立150周年を迎えた医学部の伝統と実績に基づきつつ、最近では、岡山大学病院が医療法上の臨床研究中核病院やがんゲノム医療中核拠点病院に承認、選定されており、中国・四国地域の橋渡し研究拠点として、皆様と共に医療イノベーションを実現することを目指しております。

今後、総合大学の強みを活かした異分野融合科学にも一層注力し、SustainabilityとWell-beingを追求する新たな社会イノベーションを興すことにより、新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学として努力を続けて参りますので、今後とも皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

岡山大学病院長 挨拶



岡山大学理事(医療担当)・
岡山大学病院長
金澤 右

「向きあう、つながる、広がる」、英語ではFacing your face, Facing our community, Facing the worldが、私たち岡山大学病院の合言葉です。革新的医療技術創出拠点として、「向きあう、つながる、広がる」のコンセプトはまさしくそのプロジェクトに合致するものと考えます。

私たちは、医療現場で患者さんと「向きあう」ことにより、今求められているシーズを見出し、橋渡し研究につなげたいと思っています。また、中国四国地方唯一の拠点として、中国四国地方を中心とする大学などのアカデミア、あるいは岡山大学の関連病院を中心とする中央西日本臨床研究コンソーシアムなどと「つながり」、革新的医療技術創出の拠点としての機能を果たしたいと思っています。そして非常に大事なのが、創出する技術をぜひ世界に「広げる」ことだと思います。世界に「広げる」価値ある橋渡し研究を、拠点としてサポートしていきたいと思っています。

再生医療、ゲノム医療、医療用ロボット開発等々、様々な革新的な医療開発が急激に進む今、AMEDが我が国の橋渡し研究を革新的に進めていく本事業は、ある意味今後の我が国の先端医療の方向性を決めていく可能性があります。そのような中、岡山大学の立ち位置がまさしく問われており、岡山大学病院は可能な限りの力をもって、拠点事業に尽力いたしたいと思っています。

橋渡し研究戦略的推進プログラム 岡山大学拠点長 挨拶



岡山大学病院
新医療研究開発センター
橋渡し研究部 部長
渡部 昌実

岡山大学は、健康寿命の延伸を目指した多様なニーズに対応した医療分野での研究開発を視野に見据え、基礎研究の成果を臨床試験に一貫して繋ぐ為の橋渡し拠点を整備してきました。

また、国際水準の橋渡し研究・治験を担う拠点として、中国・四国地区のアカデミアに対して必要な支援を行い中心的な役割を果たすとともに、次世代医療の実現及び新たな産業を創出することが岡山大学の使命であり、国の橋渡し拠点戦略に基づきシーズ橋渡し・産学連携の為の体制を整備してまいりました。

現在、新医療研究開発センターを中心として、中国・四国地区の主要な医療機関群からなる中央西日本臨床研究コンソーシアムと協働し大規模かつ迅速な臨床試験の実施が可能であり、岡山大学病院に設置されたバイオバンクと連携することにより、イノベーションに直結する新規の疾患関連マーカーの探索が行われています。今後も拠点大学として革新的医療技術創出を実現することをミッションとし、基礎研究に基づくシーズの再現性・信頼性保証、知的財産権及びシーズ等のデータベース構築、開発戦略立案から出口戦略まで一貫してサポートできるプロジェクトマネジメント体制をさらに深化させてまいりたいと存じます。